

情報教育プログラム

- IT Program -

中部大学で学ぶ情報化社会への第一歩 - First step to information society learnt in Chubu University -

人間力総合センター 情報教育プログラムとは >>

中部大学では、2004年入学生から全員がノートPCを所持しています。情報教育プログラムでは、1年の春期と秋期に開講される情報スキル入門、情報スキル活用を通じて、自分のPCを安全、安心して使用するために情報倫理やセキュリティについての学習、PCを道具(ツール)として使いこなせるようになるための実習などを行います。

中部大学情報教育プログラム専用の教科書を使用 >>

情報スキル入門では、入学した年の中部大学生のために作られた専用の教科書を使用します。めまぐるしく進歩する世の中の情報機器に合わせ、教科書の内容は毎年更新されています。



情報教育プログラムの流れ >>

実践社会で役立つコンピュータの使い手へ

a="n"
b="world"

c=a+b
print(" %s + %s = %s " % (a, b, c))

f=a*10 print(f)
d=format(' %s %s ' % (a, b))
print(d)
g=b.replace('or', 'o')
print(g)

情報スキル活用(1年秋期)

情報スキル活用では、より高度な内容を学習し、コンピュータを使用して問題解決するためのいろいろなテクニックを学びます

- Office アプリケーション (Word、Excel、Powerpoint) の応用
- 画像や動画の加工・処理
- アルゴリズムやプログラム
- データ処理

情報スキル入門(1年春期)

情報スキル入門では、コンピュータについての基本を学びます。

コンピュータやネットワークのしくみ、大学でよく使うアプリ

ケーションソフトの基本的な使い方を学びます

大学ネットワークの利用方法

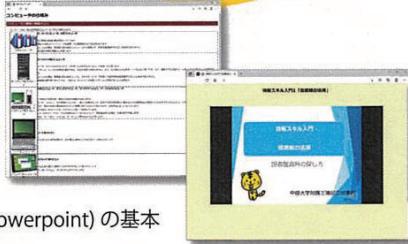
メール実習

コンピュータのしくみ

セキュリティ・著作権・情報倫理

図書館検索実習

Office アプリケーション (Word、Excel、Powerpoint) の基本



コンピュータを使用した
学部・学科の専門教育向け講義
(2~4年)

情報スキルを受講した学生の声 (Student Voice)

情報スキルを受講する前
PCは得意でしたか?

